

陳情第38号	受理年月日	令和7年6月4日
付託委員会	教育文化委員会	
件名	初代門司駅遺構に関して「北九州市文化財保護審議会」に直ちに諮問することについて	
要旨	<p>上記遺構は、現地全面保存を求める住民団体と学会の要望やイコモス緊急警告「ヘリテージ・アラート」が本市の市長、議会議長、教育長、福岡県の知事と教育長、文部科学大臣、文化庁長官に対して提出・発出されるなど、世界において歴史文化的な価値が極めて高いと評価されているところ、本市は、現在、上記遺構の真髓部分を破壊して「門司港地域複合公共施設」を建設するための工事を進めている。</p> <p>それに対してイコモスのテレサ・パトリシオ会長は、「北九州市門司区『初代門司駅』遺構複合の解体工事に対する強い非難と改めての遺産価値保全の訴え」の声明を発し、それが2024年12月19日に本市の市長と議会議長、教育長に送付されている。</p> <p>福岡県教育委員会の公文書「文化財保護法に基づく、北九州市旧門司駅舎跡に係る北九州市との協議等の事蹟」によれば、本市と福岡県教育委員会は、文化財保護法第94条の第2項と第3項の規定に基づく、当該遺跡の発掘に係る事業計画の策定とその実施についての法定協議を行っており、その中で本市文化企画課長は、令和6年1月29日、福岡県教育委員会文化財保護課参事からの「文化財保護審議会の意見をしっかり踏まえて調査・保存を進めることが重要」との意見を受け入れている。</p> <p>しかし、本市教育委員会は、いまだ上記遺構について「北九州市文化財保護審議会」に諮問していない。については、直ちに諮問するようにされたい。</p>	